

国名 ベトナム	保健医療従事者の質の改善プロジェクト
------------	--------------------

I 案件概要

事業の背景	ベトナムでは、1986年のドイモイ政策以降、保健医療分野の種々の改革がなされ、保健基礎指標の改善が図られてきた。一方で特に農村部と都市部での医療サービスの質の地域格差が拡大する等の新しい問題も出現していた。かかる状況下、医療サービス全体の質を改善するには保健分野の人材開発が喫緊の課題であるとして、保健省では全国の様々なレベルの医療スタッフの質向上のため、研修活動を通して、医療サービス人材に関する取り決めを改訂し、改革を進めていくこととした。		
事業の目的	本事業は、医療従事者の継続教育に重点をおいた人材開発計画、標準研修カリキュラムや指導教材の開発を通して、医療サービスにかかる人材育成の実施を図り、もってベトナム全土の医療サービスの質の改善を目指す。		
	1. 上位目標：ベトナムの医療機関における保健医療サービスが改善される。 2. プロジェクト目標：保健省、3 拠点病院、保健省直轄の中央病院および省病院*において、保健省で策定された医療サービス分野の人材育成に関する政策・戦略に基づいて、人材育成活動が実施される。 *3 つの拠点病院とは北部地域のバックマイ病院（BMH）、中部地域のフエ中央病院（HCH）、南部地域のチョーライ病院（CRH）であり、事業対象には本事業の定義に則って全国から選定した中央病院と省病院も含まれる。		
実施内容	1. 事業サイト：ベトナム全土 2. 主な活動：(1)人材開発計画の策定、(2)医療従事者の継続教育を重視した研修カリキュラムと教材の改訂、(3)医療サービス局（MSA）および地域医療指導部（DOHA）の指導者および研修管理者の強化、(4)基礎分野 9 科目の研修活動の管理、(5)モニタリング・評価手法の開発、(6)保健省、3 拠点病院および他の対象病院での定期的なモニタリング・評価の実施。 3. 投入実績		
	日本側 (1) 専門家派遣：長期 9 人、短期 27 人 (2) 研修員受入：59 人 (3) 機材供与：研修用機材 (4) ローカルコスト負担	相手国側 (1) カウンターパート配置：100 人 (保健省/医療サービス局 12 人、バックマイ病院 32 人、フエ中央病院 29 人、チョーライ病院 27 人) (2) 施設・資機材の提供：専門家業務用事務所 (3) ローカルコスト	
事業期間	2010年7月～2015年7月	事業費	(事前評価時) 550 百万円、(実績) 418 百万円
相手国実施機関	保健省（MOH）：医療サービス局（MSA）、科学技術訓練局（ASTT）、国際協力局（ICD）、法制局および財務計画局、バックマイ病院、フエ中央病院、チョーライ病院		
日本側協力機関	厚生労働省、国立国際医療センター		

II 評価結果

【評価の制約】

・事後評価調査での時間制約のため、情報収集が限定的となった。本事後評価は選定した 3 つの拠点病院、7 つの省病院と 1 つの中央病院から収集した情報に基づいている。

【留意点】

事業完了後のプロジェクト目標の継続状況の評価（プロジェクト目標の継続状況）

・事業完了時と同じ方法での情報収集が困難であったこと、事業完了後の計画値が提示されていないことから、事業完了時とのデータの比較は不可能であった。したがって、本事後評価調査では研修の継続状況に焦点をあて、補完情報を活用して検証した。本事業が目指した全 9 科目の研修が継続して実施されるようになったかを検証するにあたって、「対象病院での研修の実施状況」を補完情報 1 とし、「同研修への参加者の受講状況」を補完情報 2 とした。さらに、これらの病院で研修の質的な側面を検証するために、「本事業が導入した標準的なモニタリング・評価の手法が適用されているか」を補完情報 3 とした。

上位目標の達成状況の評価

・上位目標「ベトナムの医療機関における保健医療サービスが改善される」の達成状況を検証するためには、対象病院の医療サービスの質が保健省の行政部門から評価されているかという医療サービスの質に関する技術面での検証が必要である。2013年に導入された病院の質の評価指標（保健省決定 4858）は、病院の医療サービスの質を客観的に評価するのに適切と考えられることから、このデータを補完情報 4 として活用する。

1 妥当性

【事前評価時・事業完了時のベトナム政府の開発政策との整合性】

事前評価時、本事業はベトナム政府が医療サービスの質の向上を優先的項目と位置付けた国家開発計画である「社会経済開発 10 年戦略（2001 年～2010 年）」に整合していた。また、2010 年の医療サービス体制にかかるマスタープランでは、政府は医療従事者の能力向上および標準化の政策を打ち立てた。この政策は検査と治療に関する法律を施行する狙いがあり、同法の中では医師や看護師の資格要件、医療サービス提供者の技術レベルや資格要件が明確に定義づけられている。事業完了時、本事業は国の開発政策である「保健セクター開発 5 年計画（2011 年～2015 年）」に整合していた。その中で定量的、定性的両方の観点で、保健人材開発の向上が重要な課題の 1 つとして取り上げられている。

【事前評価時・事業完了時のベトナムにおける開発ニーズとの整合性】

上記「事業の背景」に記載した通り、本事業は事前評価時において、医療サービスの質および医療従事者の能力向上という、ベトナムの開発ニーズに整合していた。事業完了時においても、これらの開発ニーズは引き続きあった。

【事前評価時における日本の援助方針との整合性】

日本政府は、「対ベトナム国別援助計画（2009年）」において、4つの優先分野を支援する方針を打ち立てていた。その中の1つが「社会・生活面の向上と格差是正」であり、医療サービスへのアクセスや医療サービスのさらなる向上への支援提供等「基礎社会サービス向上」を焦点としていた。

【評価判断】

以上より、本事業の妥当性は高い。

2 有効性・インパクト

【プロジェクト目標の事業完了時における達成状況】

事業完了までに、プロジェクト目標「保健省、3拠点病院、保健省直轄の中央病院および省病院において、保健省で策定された医療サービス分野の人材育成に関する政策・戦略に基づいて、人材育成活動が実施される」は一部達成された。終了時評価時にプロジェクトが実施した質問紙調査で収集したデータによると、指標1および指標2で特定された研修コースの数および研修への参加者数はそれぞれ目標値を達成した。一方で、この評価結果には限定された科目のデータしか含まれていないことが、事後評価調査で判明した。これは、研修カリキュラムや研修教材の承認が遅れたため、9つの研修科目のうちの6科目は、事業期間の後半になって開始されたことが要因である。さらに、質問紙調査で得られた情報には、口頭での報告や同僚間での知識共有等の非公式の研修の事例も含まれていた。終了時評価時に、指標の定義やデータ収集方法を明確化すべきであったという点も、本調査で判明した。

【プロジェクト目標の事後評価時における継続状況】

事業完了後、事業効果は一部継続している。事業完了後に9科目すべての研修カリキュラムと研修教材が正式に承認され、1科目（リファラルシステム）を除くすべての科目の研修が実施されてきたことが確認できた。本事業の対象病院のうち14%にあたる11病院を選定して実施した質問紙調査では、実績表が示す通り、8科目ではほぼ継続して研修が実施されている（補完情報1）。（なお、全科目の年平均合計では112回実施）。また、同期間での8科目の研修受講参加もほぼ継続している（補完情報2）。（なお、同期間全科目の年平均合計で5,869名が研修を受講）。その中には本事業で養成された研修講師によって実施されている研修もあることが、拠点病院での聞き取り調査で確認できた。保健省医療サービス局と拠点病院を含む7病院に対する聞き取り調査では、チョーライ病院以外は事業完了後も標準的なモニタリング・評価の手法が継続的に適用されていることが確認できた（補完情報3）。このことは、人材能力の質的な側面が、本事業で導入された手法によって適切にモニタリングされていることを意味する。

【上位目標の事後評価時における達成状況】

上位目標「ベトナムの医療機関における保健医療サービスが改善される」は達成された。11の病院のすべてにおいて、患者の満足度は2018年まで改善傾向を示し、2018年の満足度は80%を上回った（指標1）¹。対象病院の医療サービスの質は保健省の行政部門から評価されていることも、本調査で確認された。さらに、保健省の報告書によると、11の病院の入院患者の満足度はチョーライ病院を除いて向上している。また、【留意点】で言及した病院の質の評価結果（2015年～2018年）によれば、11の病院のほとんどで事業完了以降は改善傾向を示している（補完情報4）。3つの拠点病院は「特等級病院」の認証をうけ、保健省が主導する「サテライトプロジェクト」²や「1816プロジェクト」³を通して、それぞれの地域で省病院や下位の病院への技術サポートや研修指導の重要な役割を果たしている。

【事後評価時に確認されたその他のインパクト】

本事後評価調査では、いくつかの波及効果も確認された。研修教材は、保健省、3つの拠点病院、省病院による協力によって開発され、すべての病院が参照すべき、国の標準的教材となった。保健省の決定等に基づいて本事業が導入した講師養成研修（TOT）と本事業が開発したTOTのカリキュラムによって、国全体の病院を対象とした講師養成の体制が構築された。病院での医療従事者の継続教育活動の方針を示した通達22/2013/TT-BYTでは、医療サービスの教育、指導に関する研修を受講した講師のみが他の医療従事者を指導できると規定している。このことは医療サービスの質を維持するとともに、さらに向上させていくことにつながる。

【評価判断】

よって、本事業の有効性・インパクトは中程度である。

プロジェクト目標及び上位目標の達成度

目標	指標	実績			
プロジェクト目標：保健省、3拠点病院、保健省直轄の中央病院および省病院において、保健省で策定された医療サービス分野の人材育成に関する政策・戦略に基づいて	指標1：プロジェクトで養成された指導者によって実施された研修コースの数（目標値270コース）	達成状況：一部達成（一部継続） （事業完了時） 本事業で養成された指導者によって実施された研修コースの数			
			研修科目 ⁽¹⁾	計画	実績 ⁽²⁾
		1	TOT		968
		2	看護管理		107
		3	院内感染		238

¹ 事後評価時は、入院患者の満足度のデータのみが入手可能であった。なお、入院患者の満足度はサービスの質を検証する重要な根拠として頻繁に引用されている。

² 「サテライトプロジェクト」：2013年に認可。癌、外傷ケア、心臓病、産科、小児科の5つの優先的分野における省病院での検査および臨床に関する技術向上を目的とする。同プロジェクトでは、保健省直轄の9つの中央病院およびホーチミン市地域医療指導部直轄の5つの病院が「拠点病院」の役割を担い、全国の45の省病院への研修を通して技術移転を行う。

³ 「1816プロジェクト」：2008年に決定1816/QD-BYTにより認可。上位病院（保健省傘下の35の中央病院、ハノイとホーチミン市管轄の25の地域医療指導部）の専門スタッフをローテーションで下位病院に派遣し、医療サービスの質の向上を支援するもの。

<p>づいて、人材育成活動が実施される。</p> <p>(補完情報1)</p>	<p>合計</p> <p>270</p> <p>1,313</p> <p>注：(1)データは3科目に限定された。 (2)実績数値には口頭での報告や同僚間での情報共有等の非公式なものも含まれる。</p> <p>(事後評価時)</p> <p>調査対象となった11の病院での研修の実施状況⁽³⁾</p> <table border="1" data-bbox="502 235 1532 750"> <thead> <tr> <th></th> <th>研修科目</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年 (10月時点)</th> <th>実施された 研修の数⁽⁴⁾ (年間平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>TOT</td><td>12</td><td>4</td><td>4</td><td>10</td><td>7.50</td></tr> <tr><td>2</td><td>看護管理</td><td>3</td><td>1</td><td>12</td><td>1</td><td>4.25</td></tr> <tr><td>3</td><td>院内感染</td><td>27</td><td>14</td><td>28</td><td>20</td><td>22.25</td></tr> <tr><td>4</td><td>研修管理</td><td>3</td><td>0</td><td>4</td><td>1</td><td>2.00</td></tr> <tr><td>5</td><td>病院の質の管理</td><td>3</td><td>5</td><td>7</td><td>6</td><td>5.25</td></tr> <tr><td>6</td><td>医療安全(患者安全)</td><td>9</td><td>19</td><td>8</td><td>8</td><td>11.00</td></tr> <tr><td>7</td><td>包括医療</td><td>4</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>1.75</td></tr> <tr><td>8</td><td>救急医療</td><td>41</td><td>42</td><td>68</td><td>81</td><td>58.00</td></tr> <tr><td>9</td><td>リファラルシステム</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0.50</td></tr> <tr><td></td><td>合計</td><td>104</td><td>85</td><td>133</td><td>128</td><td>112.50</td></tr> </tbody> </table> <p>注：(3)調査対象病院は、3つの拠点病院、7つの省病院および1つの中央病院である。 (4)実施された研修の数(年間平均)は事業完了後から事後評価時までの研修実施状況を把握する参考情報として提示したものであり、事業期間中5年間に達成することを目指した指標1の計画値(270)と比較することはできない。</p>		研修科目	2016年	2017年	2018年	2019年 (10月時点)	実施された 研修の数 ⁽⁴⁾ (年間平均)	1	TOT	12	4	4	10	7.50	2	看護管理	3	1	12	1	4.25	3	院内感染	27	14	28	20	22.25	4	研修管理	3	0	4	1	2.00	5	病院の質の管理	3	5	7	6	5.25	6	医療安全(患者安全)	9	19	8	8	11.00	7	包括医療	4	0	2	1	1.75	8	救急医療	41	42	68	81	58.00	9	リファラルシステム	2	0	0	0	0.50		合計	104	85	133	128	112.50	<p>合計</p> <p>270</p> <p>1,313</p> <p>注：(1)データは3科目に限定された。 (2)実績数値には口頭での報告や同僚間での情報共有等の非公式なものも含まれる。</p> <p>(事後評価時)</p> <p>調査対象となった11の病院での研修の実施状況⁽³⁾</p> <table border="1" data-bbox="502 235 1532 750"> <thead> <tr> <th></th> <th>研修科目</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年 (10月時点)</th> <th>実施された 研修の数⁽⁴⁾ (年間平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>TOT</td><td>12</td><td>4</td><td>4</td><td>10</td><td>7.50</td></tr> <tr><td>2</td><td>看護管理</td><td>3</td><td>1</td><td>12</td><td>1</td><td>4.25</td></tr> <tr><td>3</td><td>院内感染</td><td>27</td><td>14</td><td>28</td><td>20</td><td>22.25</td></tr> <tr><td>4</td><td>研修管理</td><td>3</td><td>0</td><td>4</td><td>1</td><td>2.00</td></tr> <tr><td>5</td><td>病院の質の管理</td><td>3</td><td>5</td><td>7</td><td>6</td><td>5.25</td></tr> <tr><td>6</td><td>医療安全(患者安全)</td><td>9</td><td>19</td><td>8</td><td>8</td><td>11.00</td></tr> <tr><td>7</td><td>包括医療</td><td>4</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>1.75</td></tr> <tr><td>8</td><td>救急医療</td><td>41</td><td>42</td><td>68</td><td>81</td><td>58.00</td></tr> <tr><td>9</td><td>リファラルシステム</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0.50</td></tr> <tr><td></td><td>合計</td><td>104</td><td>85</td><td>133</td><td>128</td><td>112.50</td></tr> </tbody> </table> <p>注：(3)調査対象病院は、3つの拠点病院、7つの省病院および1つの中央病院である。 (4)実施された研修の数(年間平均)は事業完了後から事後評価時までの研修実施状況を把握する参考情報として提示したものであり、事業期間中5年間に達成することを目指した指標1の計画値(270)と比較することはできない。</p>		研修科目	2016年	2017年	2018年	2019年 (10月時点)	実施された 研修の数 ⁽⁴⁾ (年間平均)	1	TOT	12	4	4	10	7.50	2	看護管理	3	1	12	1	4.25	3	院内感染	27	14	28	20	22.25	4	研修管理	3	0	4	1	2.00	5	病院の質の管理	3	5	7	6	5.25	6	医療安全(患者安全)	9	19	8	8	11.00	7	包括医療	4	0	2	1	1.75	8	救急医療	41	42	68	81	58.00	9	リファラルシステム	2	0	0	0	0.50		合計	104	85	133	128	112.50																																								
	研修科目	2016年	2017年	2018年	2019年 (10月時点)	実施された 研修の数 ⁽⁴⁾ (年間平均)																																																																																																																																																																																														
1	TOT	12	4	4	10	7.50																																																																																																																																																																																														
2	看護管理	3	1	12	1	4.25																																																																																																																																																																																														
3	院内感染	27	14	28	20	22.25																																																																																																																																																																																														
4	研修管理	3	0	4	1	2.00																																																																																																																																																																																														
5	病院の質の管理	3	5	7	6	5.25																																																																																																																																																																																														
6	医療安全(患者安全)	9	19	8	8	11.00																																																																																																																																																																																														
7	包括医療	4	0	2	1	1.75																																																																																																																																																																																														
8	救急医療	41	42	68	81	58.00																																																																																																																																																																																														
9	リファラルシステム	2	0	0	0	0.50																																																																																																																																																																																														
	合計	104	85	133	128	112.50																																																																																																																																																																																														
	研修科目	2016年	2017年	2018年	2019年 (10月時点)	実施された 研修の数 ⁽⁴⁾ (年間平均)																																																																																																																																																																																														
1	TOT	12	4	4	10	7.50																																																																																																																																																																																														
2	看護管理	3	1	12	1	4.25																																																																																																																																																																																														
3	院内感染	27	14	28	20	22.25																																																																																																																																																																																														
4	研修管理	3	0	4	1	2.00																																																																																																																																																																																														
5	病院の質の管理	3	5	7	6	5.25																																																																																																																																																																																														
6	医療安全(患者安全)	9	19	8	8	11.00																																																																																																																																																																																														
7	包括医療	4	0	2	1	1.75																																																																																																																																																																																														
8	救急医療	41	42	68	81	58.00																																																																																																																																																																																														
9	リファラルシステム	2	0	0	0	0.50																																																																																																																																																																																														
	合計	104	85	133	128	112.50																																																																																																																																																																																														
<p>指標2： 養成された指導者が実施する研修に参加した研修生の数(目標値1,350人)</p> <p>(補完情報2)</p>	<p>達成状況：一部達成(一部継続) (事業完了時)</p> <p>本事業で養成された指導者が実施した研修への参加者数</p> <table border="1" data-bbox="502 974 1396 1176"> <thead> <tr> <th></th> <th>研修科目⁽⁵⁾</th> <th>計画</th> <th>実績⁽⁶⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>TOT</td><td></td><td>35,026</td></tr> <tr><td>2</td><td>看護管理</td><td></td><td>1,993</td></tr> <tr><td>3</td><td>院内感染</td><td></td><td>16,563</td></tr> <tr><td></td><td>合計</td><td>1,350</td><td>53,582</td></tr> </tbody> </table> <p>注：(5)データは3科目に限定された。 (6)実績数値には口頭での報告や同僚間での情報共有等の非公式な研修への参加者も含まれる。</p> <p>(事後評価時)</p> <p>調査対象となった11の病院で実施した研修参加者の受講状況⁽⁷⁾</p> <table border="1" data-bbox="502 1321 1532 1825"> <thead> <tr> <th></th> <th>研修科目</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年 (10月時点)</th> <th>研修 参加者数⁽⁸⁾ (年間平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>TOT</td><td>266</td><td>116</td><td>182</td><td>393</td><td>239</td></tr> <tr><td>2</td><td>看護管理</td><td>103</td><td>37</td><td>536</td><td>103</td><td>195</td></tr> <tr><td>3</td><td>院内感染</td><td>2,942</td><td>1,390</td><td>2,885</td><td>1,016</td><td>2,058</td></tr> <tr><td>4</td><td>研修管理</td><td>100</td><td>0</td><td>185</td><td>51</td><td>84</td></tr> <tr><td>5</td><td>病院の質の管理</td><td>121</td><td>519</td><td>707</td><td>545</td><td>473</td></tr> <tr><td>6</td><td>医療安全(患者安全)</td><td>409</td><td>1,445</td><td>683</td><td>339</td><td>719</td></tr> <tr><td>7</td><td>包括医療</td><td>154</td><td>0</td><td>55</td><td>0</td><td>52</td></tr> <tr><td>8</td><td>救急医療</td><td>1,890</td><td>1,164</td><td>2,473</td><td>2,566</td><td>2,023</td></tr> <tr><td>9</td><td>リファラルシステム</td><td>99</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>25</td></tr> <tr><td></td><td>合計</td><td>6,084</td><td>4,671</td><td>7,706</td><td>5,013</td><td>5,869</td></tr> </tbody> </table> <p>注：(7)調査対象病院は、3つの拠点病院、7つの省病院および1つの中央病院である。 (8)研修参加者数(年間平均)は事業完了後から事後評価時までの研修参加状況を把握する参考情報として提示したものであり、事業期間中の5年間に達成することを目指した指標2の計画値(1,350)と比較することはできない。</p>		研修科目 ⁽⁵⁾	計画	実績 ⁽⁶⁾	1	TOT		35,026	2	看護管理		1,993	3	院内感染		16,563		合計	1,350	53,582		研修科目	2016年	2017年	2018年	2019年 (10月時点)	研修 参加者数 ⁽⁸⁾ (年間平均)	1	TOT	266	116	182	393	239	2	看護管理	103	37	536	103	195	3	院内感染	2,942	1,390	2,885	1,016	2,058	4	研修管理	100	0	185	51	84	5	病院の質の管理	121	519	707	545	473	6	医療安全(患者安全)	409	1,445	683	339	719	7	包括医療	154	0	55	0	52	8	救急医療	1,890	1,164	2,473	2,566	2,023	9	リファラルシステム	99	0	0	0	25		合計	6,084	4,671	7,706	5,013	5,869	<p>達成状況：一部達成(一部継続) (事業完了時)</p> <p>本事業で養成された指導者が実施した研修への参加者数</p> <table border="1" data-bbox="502 974 1396 1176"> <thead> <tr> <th></th> <th>研修科目⁽⁵⁾</th> <th>計画</th> <th>実績⁽⁶⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>TOT</td><td></td><td>35,026</td></tr> <tr><td>2</td><td>看護管理</td><td></td><td>1,993</td></tr> <tr><td>3</td><td>院内感染</td><td></td><td>16,563</td></tr> <tr><td></td><td>合計</td><td>1,350</td><td>53,582</td></tr> </tbody> </table> <p>注：(5)データは3科目に限定された。 (6)実績数値には口頭での報告や同僚間での情報共有等の非公式な研修への参加者も含まれる。</p> <p>(事後評価時)</p> <p>調査対象となった11の病院で実施した研修参加者の受講状況⁽⁷⁾</p> <table border="1" data-bbox="502 1321 1532 1825"> <thead> <tr> <th></th> <th>研修科目</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年 (10月時点)</th> <th>研修 参加者数⁽⁸⁾ (年間平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>TOT</td><td>266</td><td>116</td><td>182</td><td>393</td><td>239</td></tr> <tr><td>2</td><td>看護管理</td><td>103</td><td>37</td><td>536</td><td>103</td><td>195</td></tr> <tr><td>3</td><td>院内感染</td><td>2,942</td><td>1,390</td><td>2,885</td><td>1,016</td><td>2,058</td></tr> <tr><td>4</td><td>研修管理</td><td>100</td><td>0</td><td>185</td><td>51</td><td>84</td></tr> <tr><td>5</td><td>病院の質の管理</td><td>121</td><td>519</td><td>707</td><td>545</td><td>473</td></tr> <tr><td>6</td><td>医療安全(患者安全)</td><td>409</td><td>1,445</td><td>683</td><td>339</td><td>719</td></tr> <tr><td>7</td><td>包括医療</td><td>154</td><td>0</td><td>55</td><td>0</td><td>52</td></tr> <tr><td>8</td><td>救急医療</td><td>1,890</td><td>1,164</td><td>2,473</td><td>2,566</td><td>2,023</td></tr> <tr><td>9</td><td>リファラルシステム</td><td>99</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>25</td></tr> <tr><td></td><td>合計</td><td>6,084</td><td>4,671</td><td>7,706</td><td>5,013</td><td>5,869</td></tr> </tbody> </table> <p>注：(7)調査対象病院は、3つの拠点病院、7つの省病院および1つの中央病院である。 (8)研修参加者数(年間平均)は事業完了後から事後評価時までの研修参加状況を把握する参考情報として提示したものであり、事業期間中の5年間に達成することを目指した指標2の計画値(1,350)と比較することはできない。</p>		研修科目 ⁽⁵⁾	計画	実績 ⁽⁶⁾	1	TOT		35,026	2	看護管理		1,993	3	院内感染		16,563		合計	1,350	53,582		研修科目	2016年	2017年	2018年	2019年 (10月時点)	研修 参加者数 ⁽⁸⁾ (年間平均)	1	TOT	266	116	182	393	239	2	看護管理	103	37	536	103	195	3	院内感染	2,942	1,390	2,885	1,016	2,058	4	研修管理	100	0	185	51	84	5	病院の質の管理	121	519	707	545	473	6	医療安全(患者安全)	409	1,445	683	339	719	7	包括医療	154	0	55	0	52	8	救急医療	1,890	1,164	2,473	2,566	2,023	9	リファラルシステム	99	0	0	0	25		合計	6,084	4,671	7,706	5,013	5,869
	研修科目 ⁽⁵⁾	計画	実績 ⁽⁶⁾																																																																																																																																																																																																	
1	TOT		35,026																																																																																																																																																																																																	
2	看護管理		1,993																																																																																																																																																																																																	
3	院内感染		16,563																																																																																																																																																																																																	
	合計	1,350	53,582																																																																																																																																																																																																	
	研修科目	2016年	2017年	2018年	2019年 (10月時点)	研修 参加者数 ⁽⁸⁾ (年間平均)																																																																																																																																																																																														
1	TOT	266	116	182	393	239																																																																																																																																																																																														
2	看護管理	103	37	536	103	195																																																																																																																																																																																														
3	院内感染	2,942	1,390	2,885	1,016	2,058																																																																																																																																																																																														
4	研修管理	100	0	185	51	84																																																																																																																																																																																														
5	病院の質の管理	121	519	707	545	473																																																																																																																																																																																														
6	医療安全(患者安全)	409	1,445	683	339	719																																																																																																																																																																																														
7	包括医療	154	0	55	0	52																																																																																																																																																																																														
8	救急医療	1,890	1,164	2,473	2,566	2,023																																																																																																																																																																																														
9	リファラルシステム	99	0	0	0	25																																																																																																																																																																																														
	合計	6,084	4,671	7,706	5,013	5,869																																																																																																																																																																																														
	研修科目 ⁽⁵⁾	計画	実績 ⁽⁶⁾																																																																																																																																																																																																	
1	TOT		35,026																																																																																																																																																																																																	
2	看護管理		1,993																																																																																																																																																																																																	
3	院内感染		16,563																																																																																																																																																																																																	
	合計	1,350	53,582																																																																																																																																																																																																	
	研修科目	2016年	2017年	2018年	2019年 (10月時点)	研修 参加者数 ⁽⁸⁾ (年間平均)																																																																																																																																																																																														
1	TOT	266	116	182	393	239																																																																																																																																																																																														
2	看護管理	103	37	536	103	195																																																																																																																																																																																														
3	院内感染	2,942	1,390	2,885	1,016	2,058																																																																																																																																																																																														
4	研修管理	100	0	185	51	84																																																																																																																																																																																														
5	病院の質の管理	121	519	707	545	473																																																																																																																																																																																														
6	医療安全(患者安全)	409	1,445	683	339	719																																																																																																																																																																																														
7	包括医療	154	0	55	0	52																																																																																																																																																																																														
8	救急医療	1,890	1,164	2,473	2,566	2,023																																																																																																																																																																																														
9	リファラルシステム	99	0	0	0	25																																																																																																																																																																																														
	合計	6,084	4,671	7,706	5,013	5,869																																																																																																																																																																																														
<p>上位目標： ベトナムの医療機関における保健医療サービスが改善される。</p>	<p>指標1： 80%以上の病院において患者満足度調査の結果が向上(改善)する。</p>	<p>(事後評価時)達成</p> <p>調査対象となった11の病院での入院患者の満足度調査結果</p> <table border="1" data-bbox="502 2004 1508 2116"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>2015年 事業完了時</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックマイ病院(BMH)</td> <td>N/A</td> <td>84%</td> <td>88%</td> <td>93%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	2015年 事業完了時	2016年	2017年	2018年	バックマイ病院(BMH)	N/A	84%	88%	93%																																																																																																																																																																																								
病院名	2015年 事業完了時	2016年	2017年	2018年																																																																																																																																																																																																
バックマイ病院(BMH)	N/A	84%	88%	93%																																																																																																																																																																																																

(補完情報4)	-ニンビン病院	N/A	79%	81%	84%	
	-イエンバイ病院	92%	88%	100%	100%	
	フエ中央病院 (HCH)	N/A	90%	97%	96%	
	-クアンナム国立病院	N/A	N/A	80%	89%	
	-ダナン C 病院	N/A	94%	96%	97%	
	-クアンチー病院	N/A	N/A	87%	92%	
	チョーライ病院 (CRH)	84%	85%	81%	85%	
	-カントー総合病院	82%	87%	90%	88%	
	-ベンチェ病院	99%	90%	90%	95%	
	-ティエンザン病院	N/A	82%	89%	89%	
	11 の調査対象病院における病院の質の評価結果 (2015 年～2018 年) ⁽⁹⁾					
		病院名	2015 年 事業完了時	2016 年	2017 年	2018 年
	バックマイ病院 (BMH)	4.19	4.01	4.10	4.17	
	-ニンビン病院	3.38	3.08	3.28	3.31	
	-イエンバイ病院	N/A	3.32	3.67	3.73	
	フエ中央病院 (HCH)	3.94	4.01	4.03	4.17	
	-クアンナム国立病院	3.32	3.18	3.54	3.85	
	-ダナン C 病院	N/A	3.69	3.79	4.16	
	-クアンチー病院	N/A	3.36	3.39	3.59	
	チョーライ病院 (CRH)	4.10	3.91	4.06	3.92	
	-カントー総合病院	3.26	3.28	3.50	3.60	
	-ベンチェ病院	3.67	3.40	3.61	3.69	
	-ティエンザン病院	3.92	3.75	4.17	4.21	

注：(9)病院の質の評価結果は、保健省が設定した 83 項目に沿って査定し 5 段階のスケールで表したもの。

出所：終了時評価調査報告書、JICA 資料、11 の調査対象病院への質問紙調査と聞き取り調査、保健省の報告書

3 効率性

事業費と事業期間ともに計画内であった（計画比：76%、100%）。本事業のアウトプットは計画通り産出された。よって、効率性は高い。

4 持続性

【政策制度面】

「保健セクター開発 5 か年計画（2016 年～2020 年）」では、保健省は人々のニーズに応えるため、医療サービスの質を早急に向上する必要があるとしている。そのため、保健省では、医療従事者のさらなる能力向上を図るべく、種々の決定や通達等を発行した。例えば、「通達 22/2013/TT-BYT」では医療従事者への継続教育を通して、彼らの基礎的医療知識の更新を図っている。

【体制面】

保健省医療サービス局には 9 つの課と 2 つの部署がある。同局によると、現在の組織編成や陣容は医療サービスの向上と医療従事者の能力強化を図るにあたって十分であるとのことである。医療従事者の研修に関しては、同局の研修センターには看護管理、包括医療、病院の質の管理、院内感染、患者の安全とリファラルシステムの分野の研修を実施する 15 名のスタッフがおり、各拠点病院には 26 から 47 名のスタッフを擁する研修担当の特別の部局がある。バックマイ病院には 2,007 名の研修講師がおり、そのうち 200 名は本事業によって養成されている。フエ中央病院には 1,211 名の研修講師がおり、うち 192 名を本事業が養成した。チョーライ病院の研修講師の数は把握されていない。これら 3 つの拠点病院では 50 から 60 の分野に関して、省病院から派遣された医療スタッフの研修も多く実施している。これらの拠点病院と医療サービス局によると、研修に関する現在の組織構造や陣容は相対的に十分とのことである。一方で、本事後評価では、これまでの技術面での蓄積を適切に維持していくためには、欠員を避け、退職した研修講師から後任の研修講師への JICA 研修活動に関する引継ぎが適切になされるべきであったとの懸念が示された。

【技術面】

保健省医療サービス局とバックマイ病院では、本事業のカウンターパートの約半数が退職した。フエ中央病院とチョーライ病院における同数値は把握されていない。本事業によって供与された液晶プロジェクター以外の機材のほとんどは現在も稼働している。なお、3 つの拠点病院で液晶プロジェクターは故障して倉庫に保管されたままである。また拠点病院が独自にテレビ会議システムを設置したことで、画像通信システムは現在は使われていない。新しい分野である「病院管理の質」や「患者の安全」に関する研修は、中央病院に数名の講師がいるものの省病院にはいない。そのため、保健省はこの 2 つの分野の研修を 3 つの地域で実施し、省病院での研修活動を支援している。

【財務面】

保健省の総予算額は不明であるが、保健省は、循環器疾患、癌、外傷、小児科、産科、集中治療、臨床検査、血液学、輸血や感染症等の優先的分野に焦点をあて、すべての病院の技術レベルの向上を目指す特別事業として、毎年総額で 1,500 億ベトナムドンを割り当てている。一般に、研修予算は経営側中枢の決定によるものであり、優先的分野に配分されるため、基礎

的分野の研修への予算配分は変動する場合がある。また、医療従事者が特殊な分野の研修への参加を希望する場合、その経費は自身で負担する必要がある。

保健省が実施している、医療従事者研修関連プロジェクトの予算

	分野	金額
1	保健省の認可をうけた「サテライトプロジェクト(2013年～2020年)」	約1,000億ベトナムドン 通達には正確な金額は明記されていない
2	1816プロジェクト	約350億ベトナムドン 通達には正確な金額は明記されていない
3	北東および江河デルタ地域保健システム支援プロジェクト (北東および江河デルタの13の省を対象に病院のサービスの効率性や公平性の向上を目指す。世界銀行の財政支援をうけたプロジェクト)	157百万米ドル(2013年～2020年)

出所：保健省医療サービス局

【評価判断】

以上より、技術面、財務面に一部問題があり、本事業によって発現した効果の持続性は中程度である。

5 総合評価

本事業では、「保健省、3拠点病院、保健省直轄の中央病院および省病院において、保健省で策定された医療サービス分野の人材育成に関する政策・戦略に基づいて、人材育成活動が実施される」というプロジェクト目標を部分的に達成した。事業完了後は事業の効果が継続して向上し、上位目標「ベトナムの医療機関における保健医療サービスが改善される」は達成された。持続性は技術面、財務面に一部問題があるが、政策制度面、体制面での問題はない。

以上より、総合的に判断すると、本事業の評価は高いといえる。

III 提言・教訓

実施機関（保健省と3拠点病院）への提言：

- ・本事業の主要カウンターパートは少なくとも任務期間の5年間継続して業務に従事することが望ましい。さらに事業の体制面での持続性を担保するうえで業務引継ぎを円滑に行うため、欠員には代用の人材を迅速に配置すべきである。
- ・保健省、同省医療サービス局および各病院長は、たとえ優先事項による予算配分の調整が必要な場合でも病院での基礎的分野の研修を実施する予算には恒常的に配分すべきである。

JICAへの教訓：

- ・いくつかの指標では「研修」という用語が拡大解釈されたため、終了時評価調査で収集された情報には、本事業の達成状況の検証にそぐわない非公式な指導事例が含まれていた。これは指標の意味合いが明確に定義づけられていなかったこと、情報収集のあり方がログフレームに示されていなかったことによる。そこで、事業の達成状況を検証する指標は、定量的・定性的観点から、定義が明確で事後評価時において情報収集が可能なものであるべきである。



ティエンザン病院での看護師対象のシミュレーションによる救急処置訓練



チーライ病院での講師養成研修